

戦没者を追悼し平和を祈念
松前町戦没者追悼式

「松前町戦没者追悼式」が8月23日、文化センターで行われ、遺族や団体の代表者などが参列しました。式典では、松前小学校6年生の小林咲結さんが「幸せと思える世の中へ」と題して、作文を発表。「平和な世の中にするために、戦争の恐ろしさを理解して、できることから少しずつ取り組んでいきたい」と決意を述べました。その後、参列者は献花を行い、戦没者を追悼し平和を祈念しました。



①作文を発表する小林さん
②献花する参列者



大間地区「火流し」「灯笼流し」
お盆の伝統行事

大間地区の有明橋付近で、伝統行事「火流し」「灯笼流し」が行われました。火流しは8月14日、小学生や保護者が、いかだの上にならに乗せ、火を付けて川の中で引っ張って祖先の霊を迎え、翌15日、同様にして霊を送る行事です。一方、灯笼流しは8月25日、灯笼を川面に浮かべ、祖先をしのぶ行事です。どちらの行事も、幻想的な風景が広がっていました。



①色とりどりの灯笼が次々に
②大迫力の火流し



当日の様子を町公式Instagramで公開中!→



絵本で豊かな心を育て
(一社)生命保険協会愛媛県協会 絵本寄付

一般社団法人生命保険協会愛媛県協会(寺山純也会長)は8月22日、絵本を児童館と町放課後児童クラブ3カ所へ寄付しました。これは、絵本の読み聞かせを通じて子どもたちに豊かな心を育ててもらおうと、同法人が県内の自治体へ順次贈っているもの。田中町長に絵本を手渡した寺山会長は、「この絵本を使って、より多くの子どもたちに読み聞かせをしてほしい」と話していました。



富永敏男さんと古川勝美さんが受賞
令和6年度高齢者福祉関係功労者知事表彰

「第64回愛媛県老人クラブ大会」が9月4日、県民文化会館で開かれ、富永敏男さん=本村=と古川勝美さん=筒井=が高齢者福祉関係功労者知事表彰を受賞しました。今回の表彰は、地域の老人クラブ会長をはじめ、松前町老人クラブ連合会役員を務めるなど、長年にわたり地域のリーダーとして尽力してきた功績が認められたもの。表彰を受けた2人は、「これからも地域の皆さんが元気になるよう活動したい」と話していました。



①伊予高生のクイズに田中町長が回答
②愛媛FCの試合会場で、返礼品を販売
③完成したガイドスブックを持ってにっこり

町の魅力を全国へ
松山青年会議所×伊予高等学校

伊予高等学校の生徒37人は9月17日、同校でオンラインを通じ、本町と姉妹都市提携を結んでいる北海道松前町の松前高等学校の生徒と、互いの町の魅力を発信するプレゼン交流会を行いました。これは松山青年会議所(JC)が、ふるさと納税県内下位の松前町の魅力を全国に発信するため、伊予高等学校と協力して行った企画。生徒たちは、5月ごろからふるさと納税について学び、JCメンバーと一緒に町内の企業を訪問するなどして返礼品候補を発掘。併せて町内をPRするためのガイドスブックの作成を行いました。伊予高1年生の永紅葉月さんは、「町の魅力を知ることができて、前よりもっと松前町が好きになった」と話していました。発掘された返礼品候補は、今後、企業と相談の上、順次ふるさと納税返礼品に追加される予定です。

愛媛ジュニアソフトボールクラブが優勝
令和6年度全国中学校体育大会

「令和6年度全国中学校体育大会(ソフトボール大会)」は8月17～20日、富山県で行われ、愛媛ジュニアソフトボールクラブが優勝しました。このチームには、(写真左から)岡田中学校3年生大西将太さん、北伊予中学校3年生政田蓮人さん、岡田中学校1年生藤田颯さん、北伊予中学校1年生小野袋斗さんが所属。日頃の練習の成果を発揮し、優勝に貢献しました。4人は「チームが一つになって優勝できたのは最高。支えてくれた皆さんに感謝しています」とほほ笑んでいました。



新たなスポーツの世界を体験
ニュースポーツ体験会

「ニュースポーツ体験会」は9月16日、松前公園体育館で行われ、子どもから大人まで50人が参加しました。ニュースポーツとは、生涯を通じ、「いつでも、どこでも、誰でも」気軽に楽しめるスポーツとして近年、注目されているもの。参加者は、スポーツ推進委員と一緒に囲碁ボール、カローリング、ポッチャの3種目を体験し、汗を流して楽しみました。町スポーツ推進委員会の竹内晶子委員長は、「今後もイベントなどを通じて、町民の皆さんにスポーツの魅力と喜びを伝えたい」と意気込んでいました。

